

ようしょく
アオサ養殖

新和地区・宮野河内地区・深海地区（天草漁協）

波あたりが穏やかな八代海内湾の海域はアオサ養殖にとって絶好の漁場で、新春になると海岸は一面緑のじゅうたんになります。標準和名：ヒトエグサ

アオサは浅場に支柱を設置し、秋口に重ねた種網たねあみに自然採苗さいびょうします。網にアオサの種がついたら網を広範囲に広げ、潮の満ち引きを利用し、成長するまで管理します。潮によって設置した網の高さを調整することで、きれいな緑色のアオサが育ちます。

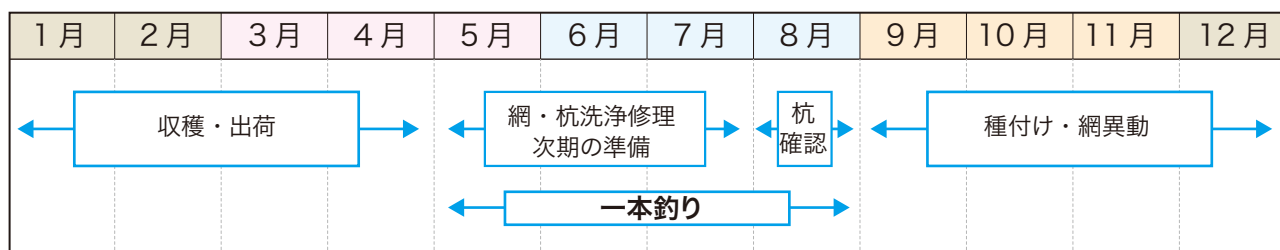


網についたアオサを摘み取るようす



早朝のアオサ養殖のようす

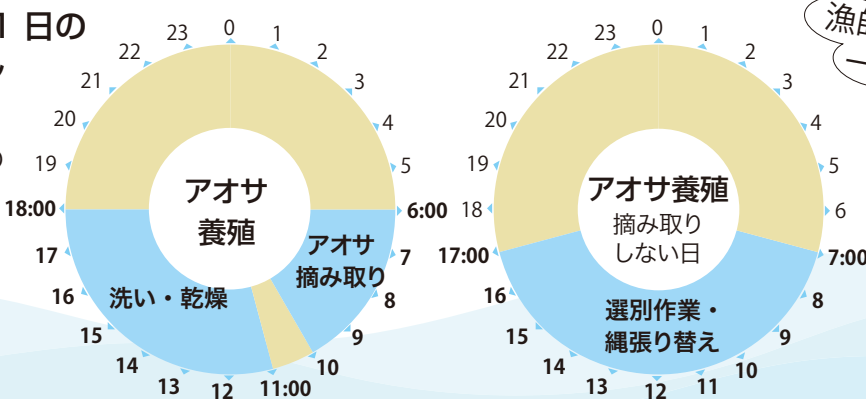
アオサ養殖漁師の年間の漁スタイル(一例)



アオサ養殖 1 日のスケジュール

※出荷時期

※年間・1日のスケジュールは地域、漁業者、潮によって異なります。



漁師から一言
メイン作業のシーズンが冬なので、寒い中海での作業はこたえますが、綺麗に成育して、良い等級の物が沢山収穫できたときは、嬉しいです！